

Euphonium Quintet

狛狼座

KOMAINU-ZA



/ W.A.モーツァルト

歌劇「ドン・ジョバンニ」より序曲

/ J.S.バッハ

イタリア協奏曲 BWV971

/ W.A.モーツァルト

きらきら星変奏曲 K.265

/ J.シベリウス

交響詩「フィンランディア」

/ P.I.チャイコフスキー

バレエ音楽

「くるみ割り人形」より

他

編曲：庄司燦

名古屋公演 2022

12月16日

19:00 開演 18:30 開場

電気文化会館

ザ・コンサートホール

東京公演 2022

12月21日

19:00 開演 18:30 開場

大泉学園

ゆめりあホール

●一般 3,000円 ●高校生以下 1,000円

チケット
取り扱い

イープラス
<https://eplus.jp/>

名古屋



東京



【お問い合わせ】 Email: eu.quintet.komainuza@gmail.com

主催 Euphonium Quintet 狛狼座 協賛 株式会社グローバル 管楽器専門店タク

Profile

神山 剛央

北海道出身。尚美ミュージックカレッジ専門学校卒業。第33回ヤマハ管楽器新人演奏会金管部門に出演。第4回J.E.T.A.学生ソロコンクール ユーフォニアムシニア部門第1位受賞。第35回日本管打楽器コンクール ユーフォニアム部門1位受賞及び、文部科学大臣賞、東京都知事賞、聴衆賞を受賞。ユーフォニアムを齋藤 充氏に師事。プライアン・ポーマン氏のマスタークラスを受講。

庄司 燦

ユーフォニアム奏者、作・編曲家。
宮城県利府町生まれ。宮城県仙台第一高等学校、東京藝術大学音楽学部器楽科を経て同大学大学院音楽研究科修士課程(ユーフォニアム)を修了。
ユーフォニアム奏者として幅広く演奏活動をする一方、作編曲家としても山形交響楽団、東京ニューシティ管弦楽団、ブリッツフィルハーモニックウィンズをはじめとした様々な団体への編曲を手がける。さまざまなゲームのコンサートに編曲として参加。東京ゲームショウ2021内の『TOKYO GAME MUSIC FES』にて数多くのオーケストラ編曲を担当。ユーフォニアムを牛渡克之、露木薫の両氏に師事。
英国式の金管四重奏 Brass Quartet Air 代表・ユーフォニアム奏者、東京プラスソサエティユーフォニアム奏者。

美濃部 夏美

茨城県水戸市出身。国立音楽大学を首席で卒業。同時に武岡賞を受賞。同大学上級アドヴァンストソリストコース修了。同大学卒業演奏会、第33回ヤマハ新人演奏会金管楽器部門、第44回茨城県新人演奏会に出演。
第32回ファルコーニ国際ユーフォニアム・チューバコンペティション第1位。ユーフォニアムを三浦徹、齋藤充、安東京平、福田昌範、各氏に師事。現在は関東圏を中心にフリーランスの奏者・指導者として活動中。聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校音楽科、埼玉県立松伏高等学校音楽科、各非常勤講師。

宮島 優哉

長野県伊那市出身。12歳よりユーフォニアムを始める。長野県小諸高等学校音楽科を経て、東京藝術大学器楽科卒業。同大学院音楽研究科修士課程修了。これまでにユーフォニアムを大山智、露木薫の各氏に師事。
平成29年度長野県新人演奏会に東京藝術大学同声会長野支部の推薦により出演する。現在は首都圏を中心にフリーランスとして演奏活動をするほか、音楽高校などで後進の育成を務める。長野県小諸高等学校音楽科、埼玉県立大宮光陵高等学校音楽科、埼玉県立芸術総合高等学校、各非常勤講師。

山崎 由貴

静岡県浜松市出身。浜松海の星高等学校卒業。名古屋音楽大学首席卒業後、東京藝術大学音楽学部別科修了。第87回読売新人演奏会、第39回読売中部新人演奏会、第17回ヤマハ管楽器新人演奏会に出演。平成26年度山田貞夫音楽財団奨学生。
第3回J.E.T.A.学生ソロコンクールユーフォニアム・シニア部門第1位。チェジュ国際金管打楽器コンクールユーフォニアム部門2018,2020,2022第3位。
現在は関東圏を中心に吹奏楽やオーケストラへの客演等フリーランスの演奏者、指導者として活動中。音楽之友社刊『バンドジャーナル』ユーフォニアムフポイントレッスンを2022年度執筆。
ユーフォニアム・チューバアンサンブル『Ueno Bass Clef』各メンバー。静岡県立沼津西高等学校音楽科、蒼羽芸術高等専修学校芸術科各非常勤講師。東京音楽大学附属高等学校演奏助手。
これまでにユーフォニアムを露木薫・小久保まいの各氏に師事。



狼 座

ユーフォニアムクインテット狼座は神山剛央、庄司燦、美濃部夏美、宮島優哉、山崎由貴で構成され、いずれも国内外のソロコンクールで優勝・入賞多数、新進気鋭の同級生で結成した。結成当時より、メンバーである庄司燦が楽器の特性を生かした編曲を全曲担当している。第一回演奏会(2019年5月)では《子供の情景/シューマン》や《ホルベルク組曲/グリーグ》、第二回演奏会(2022年5月)では《こうもり 序曲/J.シュトラウス2世》、《韃靼人の踊り/ボロディン》などオーケストラやピアノの作品など幅広く取り上げている。ユーフォニアムアンサンブルのレパートリー拡充を大きな目的に掲げ活動しており、今後ますますの活動が期待されている団体である。